

支援を必要とする我が子のために

引継書「将来のためのあんしんノート」



- 支援を必要とする我が子のために親がしていることは多岐にわたります。その親がある日突然に不慮の事態になってしまった時、あるいは、高齢になり介助ができなくなってしまった時、我が子はどうなるのでしょうか。後を託す親族や成年後見人等に「我が子がよりよい人生を送れるように」伝えたいこと記録しておきましょう。
- 記録することで、親の考え方を客観的に整理することができ、将来、成年後見人等の選任申立をする時の重要な資料となります。また、既に親が成年後見人等になっている場合も、残された遺族や後継の成年後見人等が戸惑うことのないよう、引継書として役立ちます。
- 障害者手帳や保険証などはコピーを添付しておくとも便利かもしれません。また、医療的に伝えなければならないことがたくさんある場合は、お薬手帳や横浜市発行の健康ノートの活用やお薬説明書など添付するのも有効です。母子手帳には、出生時からの成長の記録や予防接種記録が記載されているので参考になるでしょう。
- ノートに記載していくことは大変な作業ですが、重要なことから始めてみましょう。また、重要な書類等の変更があった場合は、できるだけ更新していくことをお勧めします。
- 将来への不安は尽きないかもしれませんが、ほんのちょっとでも「あんしん」に繋げる一助になることを願っています。
- そして、できれば親が元気なうちに、我が子がグループホーム等に入居し自立していく時や成年後見人を選任する時に段階的に託していく引継書として活用していただければと思います。
- なお、引継書「将来のためのあんしんノート」は横浜市の障害福祉制度・サービスを基に作成しております。ご利用にあたっては自治体による制度の違いにご留意頂きますようお願いいたします。

